



第36号

平成27年1月1日

発行責任者
千歳市町内会連合会

会長 沼田常好
千歳市幸町4丁目30
中心街コミセン(千歳タウンプラザ3F)
TEL.0123-49-7100
FAX.0123-49-7300

印刷
(株)フロンティアエージェンシー

市町連だより

しちょうれん

平成26年度

市町連要望と千歳市の回答説明会

11月7日(金)ホテルグランテラス千歳において「平成26年度千歳市町内会連合会要望書に対する回答説明会」を開催し、千歳市から山口市長をはじめ18名、市町連から沼田会長以下78名が出席しました。

今年度も、各町内会からの要望をブロックごとにまとめ、8月25日



29日にかけて各ブロックと市関係者と意見交換を行い内容を確認したのち、10月8日(水)に「平成26年度要望書」を市に提出しました。各町内会の個々の要望は別冊「平成26年度市町連要望書資料」として添付しました。説明会は、要望書の9項目15件について一問一答方式で市の担当部長から回答を受けました。

1 生活環境の整備 3件

・公園施設の整備

・除雪及び排雪対策

・バス路線の拡充

2 道路及び施設整備 3件

・道路の騒音・振動対策

・生活道路・歩道の補修

・集会所の増設

3 防災・防犯対策 2件

・交番の設置

・防災行政無線の整備

4 交通安全対策

・横断歩道・信号機・標識等の設置

5 町内会加入促進の協力及び

町内会館建設の補助

6 コミュニティセンターの整備 2件

・新設要望

・既設コミセン備品等の更新・修繕

7 集団資源回収における奨励金

8 空き地の有効活用

9 米軍再編交付金

26年度要望の特色は、「平成28年度で終了する米軍再編交付金事業の継

続」と「コミュニティセンターの整備」の2件を掲げたことです。前者は、交付金で防災対策備品の整備を進めている町内会が多く、複数のブロックから継続要望が提出されました。市から「千歳飛行場騒音地区整備協議会、千歳市議会、市町連の後押しを受け、在日米軍再編訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会と連携を図りながら国に対して粘り強く要望する」と回答を受けました。2件目の「コミセンの整備」は、従来、千歳市コミセン協議会連合会が要望していましたが、一元化に伴い今年度から市町連として正式に要望することとなりました。市は「第6期総合計画の前期計画は27年度で終了するので、進捗状況、アンケート結果、要望等をもとに後期計画検討の中で判断する」と回答しています。

「説明会」終了後、町内会加入促進キャンペーンのポスターを披露し、好評をえました。その後、会場を移して、市関係者と市町連の懇親会を行い大いに交流を図りました。

総務広報部長

井上 英幸



新春を迎えて



千歳市町内会連合会
会長 沼田 常好

皆様方とともに、新年を寿ぐことができ一入のお喜びを申し上げます。平素は市町連に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、各地域・町内会において防犯・交通・福祉・青少年活動など多くの課題に對しご尽力されているご努力に深く敬意を表す次第でございます。

昨年度は、コミ協連との一元化などにより一歩前進しましたが、まだまだ組織の一本化は道半ばです。理事の皆様方のご理解とご協力で一歩ずつ前に進んでいると確信しております。各町内会皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、市町連は平成28年2月に創立50周年を迎えます。歴代会長・理事の皆様が積み重ねてこられた歴史を、何らかの形で感謝し、お祝いたいと考えています。

結びに、平成27年が皆様にとってご健勝でご繁栄の年となりますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

総務広報部会

部会長 井上 英幸

26年度活動の特色は、かねてよりの懸案でした町内会加入促進キャンペーンのポスターを作成したことです。ポスター作成にあたり、各町内の集合住宅に入居している管外居住自衛官の多くが町内会に未加入であることを考慮し、掲示場所の一つとして部隊内に貼ることが効果的と考え、全市的な啓発用と部隊内用の2種類を作成しました。

ポスターの掲示は、市内の公共施設、立地企業のほか、趣旨をご理解い

部会活動報告

ただき快く掲示に応じられた各部隊に依頼しました。また、各町内会は、多くの人々が集まる商店や人通りの多い場所等に掲示できるように取り計らってください。

また、加入促進用チラシも作成し、転入や市内移動の手続きの際に市役所窓口での配布を依頼しました。ポスターとチラシにより、町内会活動に対する理解がすすみ、加入世帯が増えることを願っています。

安全環境部会

部会長 中川 勝美

安全環境部会は、昨年度から集団資源回収の新システム移行後の状況をフォローしてきましたが、多数の町内会から以前に比べて還元金が大幅に減ったとの意見が寄

せられています。少数ではありませんが、今までと大差は無いと回答する町内会もあります。

部会は、「26年度要望」で「奨励金単価の見直し」を提出しましたが、市は、「回収方法の変更(拠点から戸別)に伴う単価減、資源物回収量の減少等の要因のほか登録回収業者の引き取り価格のバラツキ等一概に新システムによる還元金減少の原因を決めつけられない。現状においては、現在の奨励金を継続する考えです」との回答でした。27年度は、現状に関するさらに詳しいデータを収集・分析し再検討したいと思えます。

防犯対策として、「青色パトロールの普及」について検討してきましたが、10月に「千歳市地域安全活動推進委員連絡協議会」が設立、事務局を市町連が担うことから、27年度以降は協働体制をとることになりました。

26年度市町連コミュニティづくり研修会を、7月27日、鉄東地区ブロックエリア町内会の防災訓練としてコミセン運営部会と共催し、部会員一同参加しました。

みんなてつくる住みよいまる
町内会に加入しましょう

苗を育て守るみんなの絆

- 情報提供活動**
町内会広報誌の発行、研修所等からのお知らせの掲載など、地域の活性化情報提供に努めます。
- 交通安全・防犯活動**
交通安全を促進するための活動や防犯からまちを守るための防犯/110メールなどを実施しています。
- 環境美化活動**
ゴミ集積所の管理と清掃、資源回収を実施しています。防犯灯の点検なども行っています。
- 防災活動**
地震・火災などによる災害に備え、自主防災組織による防災訓練などを実施しています。
- レクリエーション活動**
お祭りやふれあい福祉交流会、パークゴルフ大会など子供から高齢者まで、住民同士の交流を深めるための活動を行っています。

このほかにも、町内会は地域内外の各種団体と協力して活動しています。

町内会は、身近な人たちで、地域をより良くするために、互いに助けあうの心で活動し、自主的に運営している団体です。地域の皆さんと一緒に安心して暮らしたい気持ちや安心して暮らすための暮らし方、千歳市町内会連合会は、市内11町のコミュニティ・センターの設置、運営をしています。

町内会に関するお問い合わせは、市・町内連合会にお願いいたします。

千歳市役所 市民生活課 (TEL.0123-24-3111) 千歳市町内会連合会 (TEL.0123-48-7100)
〒050-8585 千歳市千歳町1-1-1

福祉青少年部会

部会長 藤木 邦啓

「少子高齢化」問題は、我が国が当面する大きな課題であり、福祉青少年部会に課せられた宿題でもあります。千歳市役所、社会福祉協議会、民生委員・児童委員連絡協議会、千子連等と連携し、情報を共有して活動を推進することが重要と認識しています。

各町内会では、会長が先頭に立ち、福祉部、青少年部がいろいろな行事を企画立案し、大変な苦勞を伴いながら活動しています。福祉部では、小地域ネットワーク、福祉委員会活動、ふれあいサロン、敬老会など多数の行事があり、青少年部では、ラジオ体操、子どもみこし、お泊まり会などが挙げられます。各町内会は、これら行事の実施を通して成果や問題点を把握していることと思います。今年度、部会での検討議題として話し合っています。



コミセン運営部会

部会長 村上 松夫

7月27日、26年度市町連コミセンティづくり研修会として、安全環境部会と共同で鉄東地区ブロックエリア19の町内会(参加者150名)による防災訓練を行いました。

訓練は、鉄東コミユニティセンターを会場とし、千歳市、千歳市消防署、千歳市防災マスターリーダー会等の協力を得ました。

「08時30分地震発生、千歳市の震度6強、建物倒壊、ライフライン寸断等甚大な被害発生」の想定のもと、かなり緊張した状況で開始されました。今回の防災訓練の主な内容を紹介いたします。

(1)避難所運営訓練

- ア 炊き出し訓練
- イ 消防署員による負傷者応急処置(骨折)、救急救命処置の展示及び体験
- ウ 避難所の間仕切り段ボールの組立作業の体験

(2)災害図上訓練(DIG)

参加者を町内会グループの4班に分け、自宅周辺の地図を使用し、各

自が置かれている状況と計画避難経路を確認した後、リーダーから逐次示される倒壊家屋・道路損壊等の障害物を避けて避難所までの新たな経路を求める図上避難訓練を実施

(3)展示・説明会

- ア 消防署による救急車・水槽車・はしご車の展示
- イ ガス事業所によるLPG燃料発電機・軽トラック搭載移動発電車の展示
- ウ 清涼飲料水メーカーによる避難者無償利用自動販売機の利用方法等の説明



編集後記

昼食は、炊き出し訓練で調理したカレーライスと市危機管理課準備の非常食で訓練の疲れを癒し、防災訓練を終了しました。19の町内会が参加する比較的大がかりな訓練で、初めて体験する人も多数いましたが、準備段階から皆さん熱心に取り組んだ結果、防災意識の高揚と町内会の枠を越えた地域コミユニティ運動を展開できたと確信しています。

晴天の霹靂のような総選挙の開票速報を見ながら編集作業をしています。第36号から「部会活動報告」に一元化に伴う「コミセン運営部会」の活動報告を追加することとなりました。皆さんの身近で行われているコミユニティ運動がテーマですので、期待する事項や疑問に思う事項等を事務局にご連絡ください。

選挙の大勢が見えたようです。民主主義には、意思を示さないという選択肢が無いことを痛感しています。

女性部会

部長 岩井 和江

11月10日(月) 中心街コミュニティセンターにおいて女性部秋季研修会を開催し、48町内から108名が参加し「認知症」について学びました。

お忙しい中、医療法人資生会千歳病院理事長の佐藤正俊先生を講師にお迎えし、認知症の現在の状況、「認知症」と老化による「物忘れ」の違い、三大認知症などを具体的にお話して頂きました。また、3人のスタッフの方から「認知症予防の過ごし方」「高齢者の食事支援」「地域で認知症を支える窓口」等専門分野の分かり易いお話がありました。

「認知症は治らない」と思われていますが、進行を遅らせる投薬治療や、脳を活性化して残っている認知機能や生活能力を高める治療、例えばウォーキング・体操などの有酸素運動の実施、音楽・園芸・絵画・陶芸等の芸術療法、他に介護の工夫と家族の絆を深めることも大切と強調されました。

4人に1人が認知症になると予想されていますが、元気な間に「認知

症」の正しい知識を学び、生涯健康で楽しく過ごせる高齢者になる努力の大切さを感じました。



創立40周年を迎えて

「明治十七年我等先人達がこの地に開拓の鋤を入れて流汗九十年本市の発展に伴い地区関係者の協力のもとに土地区画整理事業により健全な宅地造成が完成されたことを誌し記念する昭和48年4月吉日・千歳市東郊土地区画整理組合」

すみよし2号公園の石碑に刻まれています。

住吉2丁目町内会は、翌昭和49年6月1日に創立され今年度40周年を迎えました。新緑さわやかな6月1日、山口千歳市長はじめ来賓多数のご臨席を頂き和やかに40年の節目を祝いました。

創立以来、地域の単位自治組織として、住みやすい生活環境・地域福祉・文化の向上等に取り組み、成果を重ねてまいりました。今後

も、多様化する今日的諸課題に對して住民自治の役割を認識し、住み慣れた地域で暮らすために努力してまいります。結びに、関係する行政・機関・団体の皆様により一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

創立40周年記念式典・祝賀会

千歳市住吉2丁目町内会



住吉2丁目町内会

会長 愛澤 祐 司